
情報番号：教育技法—9

テーマ：ロールプレイング

編著者：IBEX-T

1. ロールプレイングとは

日本語に訳すと「役割演技法」になるが、ロールプレイングといういい方がいい方が一般的である。ロールプレイングを定義すると「現実に近い状況を設定し、参加者に特定の役割を演技させることにより、特定の技術を身につけさせ、対人間の感受性や創造性、問題解決能力を高めさせていく技法」となる。

この技法は、J.L.モレノが考えた「サイコドラマ（心理劇）」から発展したもので、心理療法の考え方が背景にある。

ロールプレイングは対人関係上の感受性や問題解決能力を高める「型から出すロールプレイング」と基本動作や技能を身につけさせる「型にはめるロールプレイング」に大別できるが、企業内で行っているロールプレイングは、接遇、電話応対、セールス訪問など、基本動作や特定の技術を身につけさせる「型にはめるロールプレイング」が大半である。進め方の違いにより、一般法のほか、即興法、役割交換法などのバリエーションがある。